

1. 件 名：日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅの事業者防災訓練に関する意見交換について
2. 日 時：令和2年5月21日 15:50～16:57
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者  
原子力規制庁 緊急事案対策室  
児玉企画調整官、宮地防災専門官、落防災専門官、岡村係長  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀廃止措置実証本部  
安全・品質保証室 グループリーダー 他5名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要 旨  
日本原子力研究開発機構から、令和2年2月18日に実施した高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、社内・社外評価結果から分析した課題対応について説明があった。（資料1）  
原子力規制庁より、今回日本原子力研究開発機構が行った分析では原因が抽象的であり、対策についても習熟や教育重視となっているため、恒久的な対策の効果が期待できない。更なる原因の深掘りにより、具体的要因の発掘を行い、再発防止に繋がる対策の検討を行う旨の指摘を行った。また今年度の機構全体の訓練を通して実施した、反映すべき改善の取り組みをまとめるよう伝えた。  
日本原子力研究開発機構から、再度整理するとの回答があった。
6. その他  
配付資料： 資料1 令和元年度 高速増殖原型炉もんじゅ総合防災訓練（2/18）における課題対応について（日本原子力研究開発機構）